

令和3年度



学校だより
7月号

令和3年6月30日

横浜市戸塚区秋葉町203-2

かわかみ

横浜市立川上小学校

電話 811-9345 FAX811-5961

めあてあつての努力と協力 ～たし算とかけ算～

学校長 堀部 尚久

盛夏を前に、まだしばらくは梅雨明けを待つ天候不順が気になる毎日です。早いもので明日から7月を迎えます。週明け月曜日に予定していた「航空写真撮影」は、金曜日の時点での天気予報をもとに既に延期を決めていた関係もあり、子どもたちには、楽しみを先送りさせてしまうことになりました。それでも、子どもたちによる130周年記念実行委員会も立ち上がり、実行委員によってこれから様々な活動が企画・運営され、創立の祝意や支えていただいている方々への感謝の気持ちを軸に、創立130周年を盛り上げようとする準備が進められています。この1年間を通して取り組む周年行事に関わる活動は、川上小学校の児童としての誇りを持ち、これからも自分たちの学校をさらによくしていこうという気持ちをはぐくむ大事な機会です。実行委員が中心となって、学びや生活の拠点としての「学校の今」を見つめ、目指そうとする「学校のこれから」を考え、「こんな学校にしていこう」という思いを共有し合える取組が期待されます。私たち教職員は、子どもたちが、自分たちの学校創りのめあてや目標を立て、実行し、実現していく過程を丁寧に見守りながら、子どもたちをしっかりと支えていきたいと思えます。

さて、あと3週間ほどで夏休みが始まります。4月に立てた子どもたち一人ひとりのめあてや目標、あるいは話し合いをもとに練り上げてきた学級目標・学年目標に対して、どれくらい達成することができているかを振り返ることが、この時期は大切であると考えます。子どもたちには、一度立てためあてや目標に対して、できるようになったことや分かるようになったことが何であるか、また、自分が努力をし続けてきたことが何であったかなど、様々な機会を捉えて自己を見つめることを大事にしたいと思えます。めあてを達成できたという子どもがいる一方で、めあてを高いところにもちすぎてしまったという子どももいるはずですが、改めてこの時期もう一度自分が立てためあてをしっかりと見直し、夏休みを迎えられるよう支援していきたいと考えます。

子どもたちがめあてや目標を立てたとき、めあての実現や目標に向かうための「努力」や「協力」が必要となります。子どもたちにとっては聞き慣れた言葉であり、さらには、聞き飽きるほど使い続けてきた言葉であるかも知れません。両者の意味からすると、努力とは「力を尽くして励むこと」であり、協力とは「力を合わせて事にあたること」と辞書には記されています。力を尽くすには、成し遂げたり実現させたりしたいと思えるめあてや目標が当然必要です。そして、力を合わせるには、共通のめあてや目標をもった仲間も必要です。4月からの子どもの学びづくりや生活づくりの様子を考えると、多くの活動において、めあてや目標、あるいはスローガンを掲げ、その実現に向けて、「努力」する姿や「協力」する姿を見てきました。

「努力はたし算、協力はかけ算」とも言われます。一人ひとりの努力があり、さらに、目標に向けて協力し合える状況があると実り多い活動となるということを端的に示唆している言葉でもあります。そう考えると、目標がないところには努力も協力も生まれないということでもありと云えます。本校の教育活動の全てにおいて大事にしている「振り返り」は、こうしためあてや目標に対して、どこまで実現が図られたかを自覚し、さらには、取組の課題を捉え直し、改めて挑戦していくことが何であるかを共有していくという意図やねらいをもつためには欠かせない時間であると考えています。同時に私たちにとっては、活動の価値を問い続け、よりよくなろうとする子どもたちの素直な思いに込めていく支援の場でもあると思っています。

今後とも、保護者・地域の皆様との連携協働の下、めあてや目標を大事にした学びや生活づくりを通して、教育活動の充実に努めていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。